

人の体と健康を科学的観点から考える

西脇 雅人 (にしわき まさと)
工学部 総合人間学系教室 講師



用途・応用分野：健康状態のアセスメント、食品やサプリメントの
摂取効果測定、運動トレーニングの効果測定

■ 研究シーズ概要

- 1、血圧脈波検査装置、超音波エコー、トノメトリセンサ、呼気ガス代謝測定装置などを用いた動脈や体組成の評価、専門的な体力測定が行えます。これらにより、健康状態の評価、食品やサプリメント摂取効果の評価、運動トレーニング効果の評価を行うことが可能です。
- 2、低酸素環境(酸素濃度が低い環境)下で運動やトレーニングを行った際の身体の応答や適応を検討する実験が行えます。新しい運動の方法やトレーニング機器、食品・サプリメントを高地環境で使用する場合の順化や実験的なテストを行うことが可能です。
- 3、介入研究や疫学的研究の手法を用い、生活習慣や身体活動(体を動かすこと)と健康の関連性についてのエビデンスを明らかにすることができます。大規模データ解析委託や活動量計やGPSを用いた疫学研究や介入研究での効果検討が可能です。

■ 研究シーズの特徴

- ①健康増進のための、より効果的な運動・リハビリプログラムの開発・提案とその生理学的機序の解明を進めることができる。
- ②アスリートの競技力を飛躍的に向上させるトレーニングプログラムが開発ができる。
- ③大規模データや疫学的研究、介入研究から、「健康」や「病気」に関連している体力要因や生活習慣の要因を抽出できる。

